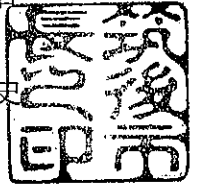




19 筑道第 59 号
平成19年 5月 2日

国土交通省 道路局長 様

筑後市長 桑野 照史



中期的な計画の作成にあたっての意見について

日頃より地方自治体の道路行政に関し、大変お世話になっております。今後とも厳しい財政の中、真に必要な道路整備については、誠実に進めてまいりたいと考えています。

さて、標記の件について下記のとおり意見の提出をしますのでよろしくお願い致します。

記

1. メイン

- ・ 地域の自立と地域の活性化を図るためには国県市道のネットワークの形成が絶対条件と考えます。
- ・ 地方部では人口減少に伴う活力が失われつつあります。地域経済の強化を図るためには戦略的投資が必要です。

それらの実現する為、財政基盤の確保を是非お願い致します。

2. サブ

- ・ 事業効果の早期発現を図るための、予算の重点配分をお願い致します。
- ・ 交通事故から人を守る為の交通安全対策事業の推進が必要です。特に、国道209号線にあっては、人ひとりがやっと通れる程度の歩道しかない所があり、また、歩道が無いところも一定延長間存在いたします。そこで、交通安全対策を考えるときにこれらの箇所の整備が必要だと考えます。
- ・ 少子高齢化、特に高齢化が着実に進行しています。そこで、誰もが安全に、安心して社会参加しやすくするための道路のバリアフリー化が必要であります。

それらの実現する為、財政基盤の確保を是非お願い致します。

旧JR矢部線と国道209号線との交差点は旧矢部線が廃止された後も立体交差となっているため、相互乗入れができなく、周辺の土地利用が限定されています。そこで、交差点の平面化を是非お願い致します。